

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

夏まつり鳴子たずさえ行進しみごと老いの汗
出し切りにけり 高子たちばあ
どうしたの身体が私に問うてくる痛みだった
り涙だった 日下美子
ラジエーター壊れちまった相棒に今日も頼む
と水やっつて 村上 英俊
尺玉が夏の終りをつぐるとき浴衣の乙女に川
かぜのたつ 佐藤今朝雄
真夏日といへども空は高くして夜は静寂をコ
ホロギの鳴く 八嶋 正子
けさもまた鐘の音を聞く薬師寺は今日の始ま
り告げているなり 遠藤 舞
小波にうたれ遊んだ故郷は津波にのまれ住人
もなし 佐藤喜和子
仏前に今年も出たと報告す大根の葉あきか
ぜに揺れ 鎌田ねい子
颯風の爪痕深し一面のむごきニュースに胸痛
む朝 斎藤 典子
女子会はおしゃべりの間に飲んで食べた餚に
合わせ解散となる 佐藤 啓子
【評】一首目、参加なされた満足感が下の句に
溢れている。立派な記録ともなるう。
二首目、こころの窓が、外に向かって開い
ておられるからこそ出来たお歌。
三首目、まだ用に立つのだろう。その相棒
に語りかける場面。日常の些事をこのようにに
拘うのもいい。

俳壇

遠藤 秋尾 選

攻め上り寄する先鋒葛の花 岩澤 伍峯
物売りの声めずらしや夕月夜 斎藤 典子
軒下の温もり見せる吊し柿 岩松 隆志
虫の音を枕辺に置きねまりけり 高子たちばあ

東日本大震災から、間もな
く8カ月となります。

9月下旬から、やっと道路
の工事が動き出しました。応
急補修は終えているものの、各
所で通行に支障を来している
ことと思います。被災した道
路の復旧ですの、しばらく
の間ご協力をお願いします。

「それにしても遅い！」と思
われる方もいらっしゃると思
いますので、工事が行われる
までの道程を紹介し
ます。

風間市長の風のそよぎ

「復旧」

- ①市職員の現地調査。
- ②被災箇所との測量と設
計を業者に委託し、
それを基に工事の内
容方針を決定。
- ③決定した事項を「査定調査」
として取りまとめ。
- ※査定とは、災害現場の被害
状況を確認し、それに伴う
復旧工事の内容や金額の審
査を行い、国からの補助金
を決定すること。
- ④国の査定の3週間前に、県
の設計審査。
- ⑤国交省・財務省による「査
定」。修正がある場合は、再
設計・再審査。

な被害の箇所もありますので、
より複雑となります。また、こ
のように国の査定を受ける被
害のほかにも、小規模の被害
(これも測量・設計は必要)も
多数あり、完全復旧までには
時間がかかりますので、今後
も皆さまのご理解をよろしく
お願いします。



▲応急復旧工事の様子

⑥ 査定官による査定額が最終
決定。
⑦ 査定額決定後、工事発注の
ための実施設計。
⑧ 入札を行い、工事着手。

ます。一日も早い復旧に向け
作業を進めてまいりますので、
各所で不便をお掛けしますが、
通行の際には、安全運転の履
行や歩行にお気を付けいただ
くとともに、工事関係者の皆
さまへ温かい励ましの言葉な
どをお掛けくださいますよう、
重ねてお願いします。

今後も、第五次白石市総合
計画にあります「市民が共に
支え合いながら、生きる力を
育み、ふるさと白石
に誇りをもてるまち
づくり」を進めると
ともに、「がんばっ
ぺ！白石」のスロ
ーガンの下、郷土の復
旧・復興に全力を尽
くします。

柳壇

四電 英夫 選

便利さのツケが回った放射能
儲かると言うお話しに金がいら
一升餅背負って転び喜ばれ
青空を飛行機雲が真つ二つ
ゴミ出しの仕分け詳しいお父さん
手の中の幸を温めて生きてゆく
天と地の怒り背負いて千羽鶴
この頃は男性も来る惣菜屋
ミンミンとあと何日か蝉時雨
おじいちゃんママのおしりでとばされた
白二小6年 斎藤 龍

【評】一句目、今日の文明を支えてきた電気が
危ない。あまりにも便利な電気。原発事故は、
便利さに慣れきった人類への警鐘か。
二句目、必ず儲かるという誘い。それなら
自分でやれば良さそうなのを。棚からボタ
もち、濡れ手で粟。勞せず手にする宝なし。
三句目、1歳の誕生日には一升餅を背負
う風習がある。転ばない時はワザと転ばす。
家中が喜びの笑いに包まれる光景が目につ
かぶ。

—思いやりのある良質で信頼される医療を目指して—

公立刈田綜合病院紹介

臨床工学技士(ME)紹介

MEセンター 菊地 芽久美

病院の中には、医師や看護師のほかにもさまざまな職
種の医療技術者が働いています。「臨床工学技士」は
1987年(昭和62年)に制定された国家資格で、医師の指
導の下、生命維持管理装置の操作や保守点検を行う医療
機器の専門医療職です。

当院には、MEセンター所属の臨床工学技士が11名
勤務しています。MEセンターの「ME」とはMedical
Engineering(メディカル・エンジニアリング)の略で、
一般に医療機器またはそれを取り扱う医療従事者を示し
ています。

院内では血液透析、特殊血液浄化業務、心臓カテーテ
ル検査、ペースメーカー外来、高気圧酸素療法に従事し、
主に機械操作などを担当しています。皆さまの身近なと
ころでは、点滴の際に使用する輸血ポンプや血圧計、人
工呼吸器などの保守点検・管理も行っています。

昨今の高度な医療技術の進歩に伴い、医療機器の高度
化・複雑化が一層進み中、医療機器を取り扱う臨床工学

技士のさらなる活躍が求められています。

これからも医療機器が安全に使用できるよう努めてい
きたいと思います。



MEセンターのスタッフ

公立刈田綜合病院 看護師募集中！
詳しくは、当院総務課人事係(☎25-2145)まで
<http://www.katta-hosp.shiroishi.miyagi.jp/>

まちの話題

～あの日、あの時～

「走れること」の喜びをかみしめ、残暑と激坂に挑む
第25回しろいし蔵王高原マラソン大会

9月18日、「第25回しろいし蔵王高原マラソン大会」が南蔵王野営
場を発着点とするコースで開催されました。今年の大会は震災の影響
が心配された中、昨年を約200人上回る約1600人が参加。大会前日に
すまいるひろばで行われた「開会式&ウェルカムパーティー」で、浅
田加代子さん・大我くん・こころちゃん家族が元気に選手宣誓を行いました。

大会当日は、晴天に恵まれながらも午前10時の時点で30度を超す
厳しいコンディション。全国屈指の「激坂」と残暑に挑んだランナー
たちは、「暑くても、つらくても、走れることがうれしい」と、蔵王
の景色を見ながらゴール目指して力いっぱい走っていました。

結果は、5種目で大会記録が更新されたほか、中学生女子3kmの
部では榊原遥さん(白石中2年)が、昨年に続き同種目で2連覇を果た
しました。

1_2連覇を遂げた榊原遥さん 2_蔵王の雄大な景色とともに最高の笑顔 3_手をつな
いでゴール前のラストスパート！ 4_元気に選手宣誓をした浅田さん家族

